



2017 北海道レフェリーアカデミー（RAC） 活動報告

北海道レフェリーアカデミーマスター 山崎 裕彦

- 1 主旨
- ① JFAレフェリーカレッジの北海道版として、北海道在住の若い2級審判員を「1級審判員」であるトップレフェリーへと育成できる場とする。
 - ②若いレフェリーであり、かつ短期的集中的な活動ゆえ、審判技術や知識の習得に留まらず、人間性の育成も合わせて指導していく。
 - ③早い段階で将来性ある審判員の発掘育成の場とする。

**<参考資料> JFA レフェリーアカデミーの設立目的

世界に通じる日本独自の審判員に対する指導・育成システムの確立や審判員の環境の向上を図るため、また「21世紀のレフェリー改革アクションプラン」にある「JFAレフェリーアカデミー」設置の一環として2004年から立ち上がり、その後10数年の活動を経ながら着実にその目的を達してきた「JFAレフェリーカレッジ」ですが、「JFA 審判ナショナルトレセン」による次の段階の取り組みへのシフトにより、その活動を地域での活動へ変えていく時期となってきました。世界をリードするトップレフェリーの育成という当初からの目的は変わらず、さらにこれまでに以上に若い審判員への早い段階でのアプローチが必要であり大きな課題となっています。

各地域FAにおいては2級審判員の中の上位者を対象とした研修会を実施してきていることと思いますが、前述の課題を解決し、地域から20歳代でトップレフェリー候補となる審判員を輩出できることを目的とした地域RACの設立が必要と考えています。

この地域RACは、優秀な若手レフェリーを短期間に集中的に指導し、技術や知識を習得させるとともに人間性の育成を目指すもので、JFAレフェリーカレッジで積み重ねてきた様々な知識や技法を活かすことができる再構築された「地域審判トレセン」の取り組みのひとつとなります。

* RACを2年終えて卒業＝1級審判員 ではありません。

能力があれば1年目から、あるいは2年目の在学中に1級候補になることもあります。

勿論、2年目の状況がよく、HKFA審判委員会に推薦して、翌年1級候補になれるよう指導していきたく願っていると共に、考えています。

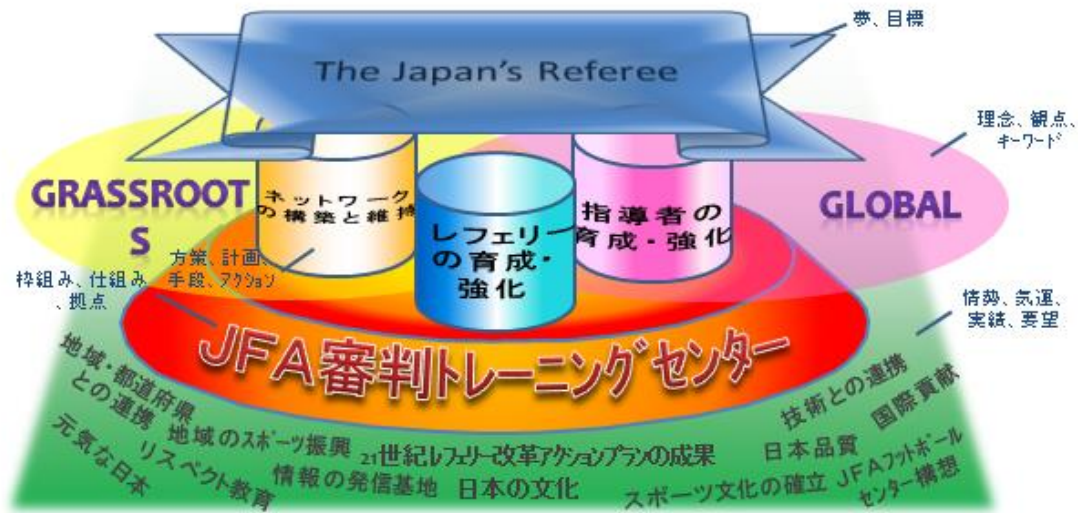
2 名称 2017/18 北海道レフェリーアカデミー（北海道RAC）

3 主催 （公財）日本サッカー協会

4 主管 （公財）北海道サッカー協会

JFA 審判トレーニングセンター

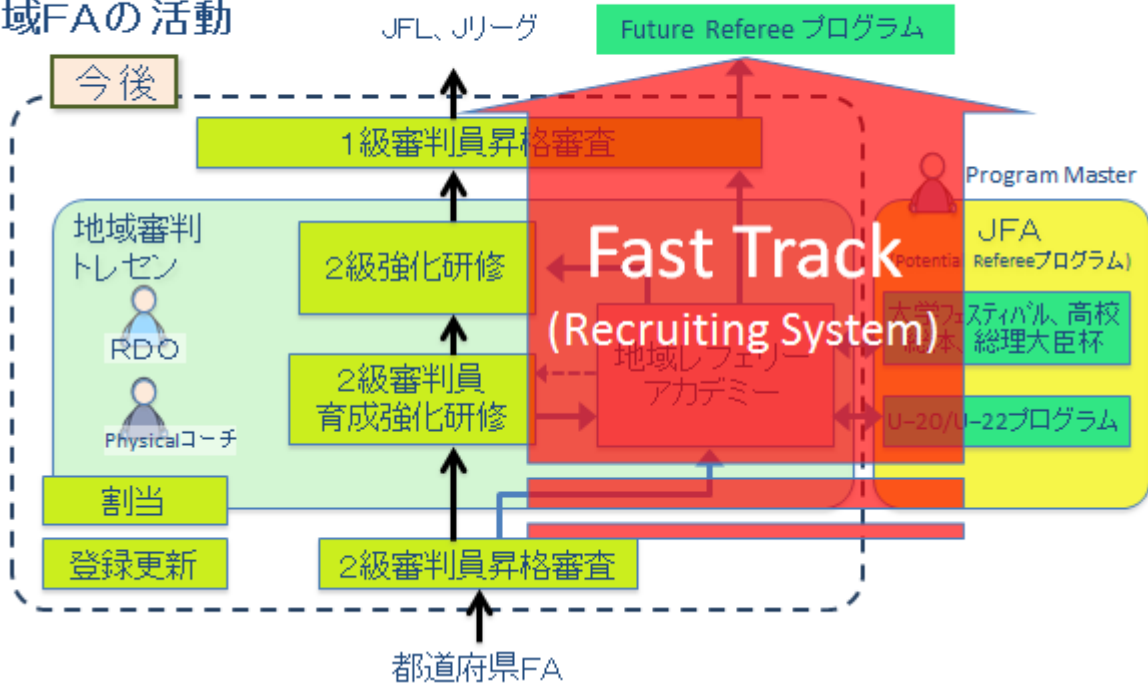
- The Japan's Refereeを支える基盤 -



JFA審判トレーニングセンターとは
日本の審判文化を支える基盤となる仕組み(拠点)

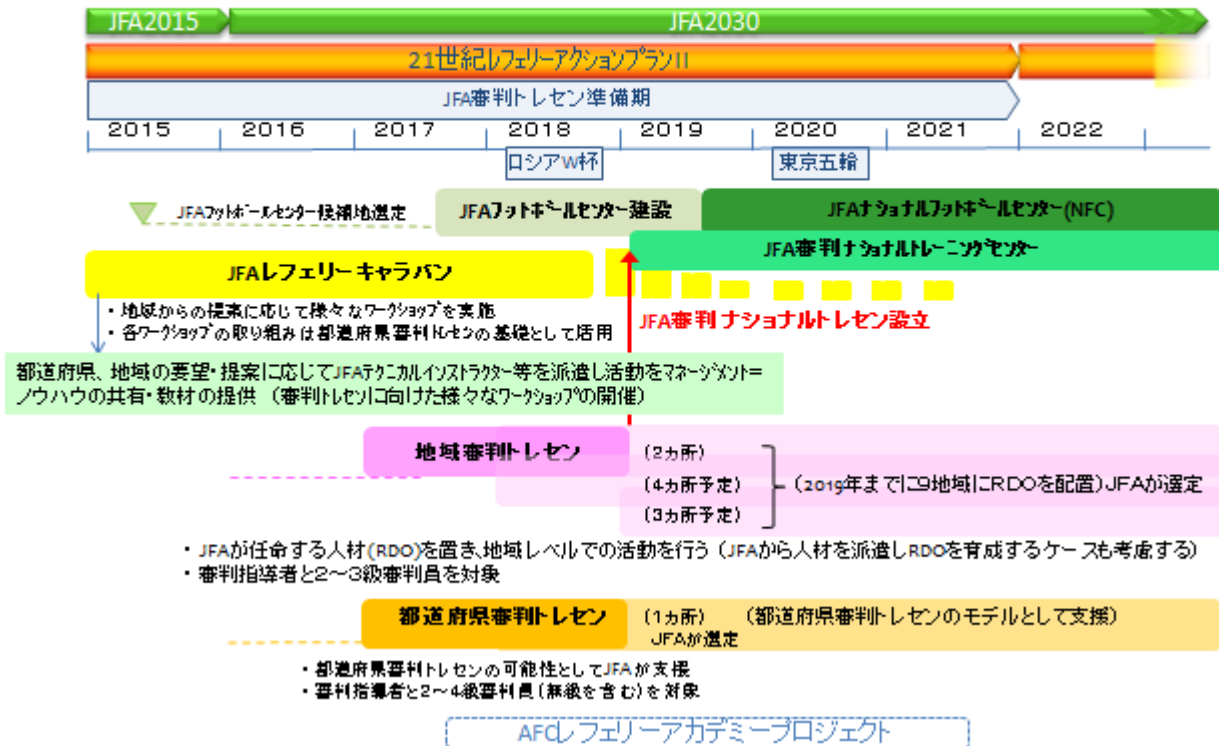
地域レフェリーアカデミー

地域FAの活動



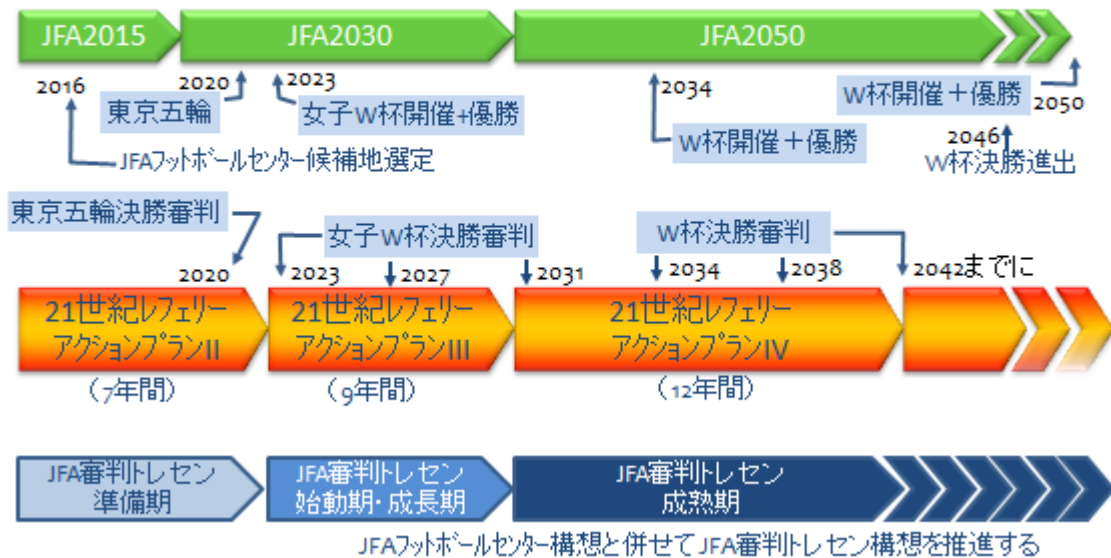
JFA審判ナショナルトレーニングセンター構想のマイルストーン

- 2021年までの進め方 -



JFA審判トレーニングセンター構想のマイルストーン

- 2050年に向けて -



- 5 内容 ①競技規則・競技規則の歴史の理解 ②レフェリングの指導 ③フィジカル強化
④技術との協調 ⑤パーソナリティの醸成

6 メンバー

R A M (レフェリーアカデミーマスター) 山崎裕彦

R A I (レフェリーアカデミーインストラクター)

伊藤真也(十勝)・荒屋 寛(札幌)・古曾部統太郎(札幌)・三上正一郎(札幌)
審判員

堀 悠雅(札幌)・宗像 瞭(十勝)・板矢智志(札幌)・須摩和樹(小樽)

7 期日・会場・実施内容

V C : ビデオクリップ P T : プラクティカルトレーニング R P : 審判員プレゼン

① 4月 8日(土)～ 4月 9日(日) 札幌市

開講式・「The Japan's Referee」・判定までの手順・開拓者精神・J1観戦・第1条～第3条
チームワーク・サッカーの生き立ち・対角線審判法・報告書の書き方
・V C (ヘディングの競り合い)・競技規則の歴史(審判員の登場)

② 4月22日(土)～ 4月23日(日) 苫小牧市 強化合同・イントレ

苫小牧地区春季大会・R P 「なぜサッカーでは手を使ってはいけないのか」

・フィットネステスト・英会話・競技規則改正説明・競技規則テスト
・強化指定審判員として・マネジメント・上級審判員から・試合振り返り

③ 5月13日(土)～ 5月14日(日) 札幌市 イントレ

V C (ポジショニング)・札幌ブロックリーグ・Web 講習(メンタル)

・P T (ペナルティキックまでの手順・アドバンテージ後の懲戒)・試合振り返り
・R P マネジメントとコントロール・マナー研修(マネジメント)

④ 6月10日(土)～ 6月11日(日) 札幌市 イントレ

北海道サッカーリーグ・第14条・Web 講習(栄養学・フィットネストレーニング理論)

・V C (P A 付近)・試合振り返り・試合自己分析・P T (副審が監視すること・動きだし)
・競技規則テスト

⑤ 7月 1日(土)～ 7月 2日(日) 札幌市

V C (アドバンテージの適用)・学生2部リーグ・競技規則改正・F S T・演劇指導

・試合振り返り・主審と副審の協力・R P 見極め・フィットネス講義・試合の振り返り
・アンガーマネジメント

⑥ 9月 2日(土)～ 9月 3日(日) 中標津町 イントレ

クラブ選手権・社会人連盟矢島氏講演・R P 役割・V C (D O G S O)・試合振り返り

・R A C 集中講習報告

⑦ 9月17日(日)～ 9月18日(月) 帯広市 強化合同・イントレ

道東ブロックリーグ・体力テスト・技術との協調

・P T (P A 付近でのマネジメント・G K の交代)

・負傷者の対応・審判員の考え方・試合振り返り・V C (中盤～P A 付近への動き方)

- ⑧ 10月 8日(日)～10月 9日(月) 室蘭市 イントレ
道リーグブロック決勝・severity・RP「オフサイド」・VC(オフサイド)
・試合振り返り・PT(ポジショニング・PA付近のFK)
- ⑨ 10月21日(土)～10月22日(日) 旭川市 地域ミニ国参加
体力テスト・競技規則テスト・梅本氏(動きとポジショニング)・高校選手権・試合振り返り
- ⑩ 11月11日(土)～11月12日(日) 帯広市
VC(プレゼンスとマネジメント)・道東ユースサッカー・競技規則テスト・RP(試合分析)
・試合振り返り・RP(直接フリーキック・オフサイド)・一年間の振り返り

8 課題と今後

<理解されてきたこと・できてきたこと>

- ・審判員としてすべきこと
- ・技術的な内容の理解
- ・挨拶や人との意見交換や話の聞き方
- ・自分の考えを伝える
- ・大まかな正しい判定
- ・フィジカルの大切さ
- ・協力して事に当たれる

<改善点・まだできていないこと>

- ・笛を持ってフィールドにいるだけ
- ・選手の気持ち
- ・選手やチームの考え
- ・「動くとは」
- ・判定の精度
- ・がむしゃらさ
- ・「なぜ」の気づき

<今後>

- ・レフェリーマインドの醸成
- ・フィジカルの強化
- ・ゲームの読み
- ・コンシダレーションポイントを意識して試合に臨む
- ・判定力をあげる

9 2018 活動計画

- | | | | |
|-----------------|-----|-------------|----|
| ① 2/3, 4 | 札幌 | ② 3/24, 25 | 室蘭 |
| ③ 4/7, 8 | 苫小牧 | ④ 5/12, 13 | 札幌 |
| ⑤ 6/9, 10 | 札幌 | ⑥ 6/30, 7/1 | 札幌 |
| ⑦ 9/1, 2 | 札幌 | ⑧ 9/22, 23 | 札幌 |
| ⑨ 10/19, 20, 21 | 帯広 | ⑩ 10/27 | 札幌 |